

明るい未来の創造に向けて!

山形県議会議員(鶴岡市選挙区)

県政レポート

じゅん

山形県議会議員 高橋 淳



◆12月定例会での高橋淳の一般質問(12/9)

<発言事項>

- ICTを活用した県政課題への対応について
 - デジタルインノベーションに対応した災害情報の提供について
 - 多様化する県民への県政広報の展開について
 - 鳥獣被害対策の推進について
 - スポーツイベントを通じた交流拡大・地域の活性化について
 - 「健康長寿」の延伸に向けた県の対応について
 - 農業における多様な人材の確保・育成について
- ※ 山形県ホームページ(インターネット議会中継)
<https://www.pref.yamagata.jp/assembly/>
 <県政の動きトピックス>

【県立専門職大学(4年生)新庄市に決定!】

※新庄市の県立農林大学校の敷地に、2023年4月開校を目指し、山形県直営の県立大学校設置の基本構想が明らかにされました。

【庄内中高一貫校(仮称)2024年度開校へ!】

※平成29年10月に田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画骨子案)を公表。「令和6年度までに鶴岡南高校と鶴岡北高校を統合し、県立中学校を新設」としていました。公表後に骨子案への賛否があり、検討を継続していましたが、教育長は令和元年12月17日に開校予定年度を2024年度とすることを公表いたしました。今後、地質調査、基本設計・実施設計、改修が進められる予定であります。

【鶴岡市も津波災害警戒区域の指定について】

※「津波防災地域づくりに関する法律(平成23年12月施行)」に基づく、「津波災害警戒区域」の指定について、遊佐町の沿岸部の指定(平成31年3月指定)に続き、現在、鶴岡市及び酒田市の沿岸部の指定に向けて調整を進めています。今後、パブリックコメント、酒田市や鶴岡市への意見照会、県公報による公示(指定)を行う予定です。

◆発行人:山形県議会議員 高橋淳

<高橋淳事務所>

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1
TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732
Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<山形県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階受付)

※皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。

◆新春のお慶びを申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって輝かしい一年となりますよう、心からご祈念を申し上げます。

私事ではありますが、昨年4月に初当選し、県政での活動の場を与えていただき、改めて感謝申し上げます。「地域に根差した生きた政策等を県政に発信していくことこそ、豊かな未来を創造するための原動力である。」という信念のもと、引き続き、「**明るい未来の創造に向けて**」、私自身も一生懸命に頑張っていく所存でありますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

◆山形県議会12月定例会閉会 /一般会計補正予算など29議案可決

先月の12月20日、山形県議会12月定例会が閉会致しました。12月県議会定例会については、台風第19号による被害へ対応などの一般会計補正予算などの29議案を原案通りに可決しました。予算以外の議案の主なものについては、山形県生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定、山形県公害審査会委員の任命(公害紛争処理法の規定により、令和元年12月31日に任期が満了するため)、請願、次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書などです。なお、今般の台風第19号でお亡くなりになられた方々と御遺族に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

◆県議会各委員会での質疑事項等(一部のみ抜粋)

<農林水産常任委員会12/17>

●耕作放棄地や農地転用により、今後、高齢化や担い手不足などを含め、農地面積の減少が予想されるが、荒廃地の発生を抑制するための新たな補填策など。

<産業振興・人材活用対策特別委員会12/19>

●令和2年度、商工労働部における「イノベーションによる新たな価値の創出」として、「IoT製品評価センター(仮称)」活用による企業のIoT関連市場への参入を促進する旨の内容であるが、具体的にどのようなイメージなのか。

<決算特別委員会 農林水産分科会10/23>

●「競争力の高い経営体の育成」について、経営発展のための農業用機械等の取得に対するオーダーメイド型の助成を行ったことにより、各経営体数は増加しているものの、家族経営体や組織経営体から更なる事業展開に向けた支援策などの要望事項は検証されているのか。併せて、重点指導農業者や支援対象者のリストアップを実施しているが、どのような実態となっているのか。

◆議会レポートあとがき

●11月9日(土)、旧いこいの村庄内の「チューリップ園の復活」に向けて、妻と一緒に球根の定植作業を行いました。早朝には、今春開校の「市立農業経営者育成学校」周辺の落ち葉などの清掃作業を行い、その後、小雨の中、関係者やボランティア団体の皆様方と約2時間の定植作業を終えました。**春の開花時が楽しみです!!**

●鶴岡市商店街の活性化を図るため、鶴岡駅前、山王町、銀座、昭和通りなどの「鶴岡市のお店の魅力」を知っていただこうと、県職員、県政クラブ、農林水産常任委員会、特別委員会などを含め、県内外の多くの方から来訪いただきました。特に、庄内浜のトラフグ、ズワイガニ、鱈、ハタハタなどの新鮮な魚介類に「美味しい!」の声が。「鶴岡市の観光地には訪れているが、市内で食事をするのは初めて」など。鶴岡市内の割烹店・料亭などを営む経営者からも大変喜んで頂いたところです。

●先月、鶴岡市議会議員の渡辺洋井さんがご逝去されました。私の選挙においても鶴岡市内を自転車で一緒に活動の応援をいただき大変お世話になりました。とても真面目で誠実な方であり、心優しく、鶴岡市民のために一生懸命ご尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【2020年度県各部局の予算要求】 山形県12月定例会において、2020年度予算編成に向けた各部局の予算要求概要(一般会計)の説明を受けました。予算要求の総額は6,228億円(3年連続増)となり、2019年度当初予算を1.6%上回っています。今月の部長、知事査定を経て山形県議会2月定例会に予算案が提案される運びとなります。

【出生数初の90万人割れ】 厚生労働省が公表した人口動態統計の年間推計によると、2019年度生まれの赤ちゃんの数は統計を始めてから始めて90万人を割り込み、過去最少の86万4千人となる見通しです。深刻化する少子化と人口減に歯止めがかかっていない状況が浮き彫りです。医療制度の維持が難しくなるなど深刻な悩みです(;ω;)ウゥ